薬剤情報

2025-5月　No.25

1．採用薬品情報（2025/4/28　薬事審議会）

1）新規採用薬剤

①イムデトラ®点滴静注用 1mg、10mg
薬価：¥137,100（1mg）、1326,870（10mg）

【薬効分類】
抗悪性腫瘍剤/二重特異性タンパク製剤
【用法・用量】
通常、成人にはタルラタマブとして、１日目に１mg、８日目に１０mg を１回、１時間かけて点滴静注する。
１５日目以降は１回１０mg を１時間かけて２週間間隔で点滴静注する。

②カボメティクス®錠 20mg、60mg
薬価：¥8,007.6（20mg）、¥22,333.0（60mg）

【薬効分類】
抗悪性腫瘍剤/キナーゼ阻害薬
【用法・用量】
通常、成人にはカボザンチニブとして１日１回６０ｍｇを空腹時に経口投与する。
なお、患者の状態により適宜減量する。

③バクトラミン®注
薬価：¥690.0

【薬効分類】
カリニ肺炎治療剤（トリメトプリム・スルファメトキサゾール）
【用法・用量】
通常、トリメトプリムとして１日量１５～２０ｍｇ／ｋｇを３回に分け、１～２時間かけて点滴静注する。
なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。

2）後発品・メーカー変更・規格追加薬剤

なし

3）削除品目

なし

2．新規 院外処方薬（院外処方箋でのみ処方可）

なし

3．医薬品安全性情報

なし

4．添付文書改訂情報

イクスタンジ錠 40 ㎎、80 ㎎

【改訂理由】

当局の専門協議において本剤と「ニルマトレルビル・リトナビル（販売名：パキロビッド）」の併用時における薬物動態学的な影響の評価が行われました。その結果、両剤の併用により、ニルマトレルビル及びリトナビルの血中濃度が低下し、抗ウイルス作用の消失や耐性出現のおそれがあることから、本剤及びパキロビッドの電子添文を改訂することが適切と判断され、厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知（令和７年４月８日付）が発出されました。これに基づき、抗ウイルス剤であるパキロビッドを「禁忌」及び「併用禁忌」の項に追記し、注意喚起することとしました。

下記改訂内容記載

【改訂内容】

<table>
<tr><th>改 訂 後（下線部改訂）</th><th>改 訂 前</th></tr>
<tr><td>2.禁忌（次の患者には投与しないこと）
2.1　（省略：現行のとおり）
2.2 ドラビリン、エンシトレルビル　フマル酸、レナカパビルナトリウム、ニルマトレルビル・リトナビルを投与中の患者［10.1 参照］</td><td>2.禁忌（次の患者には投与しないこと）
2.1　（省略）
2.2 ドラビリン、エンシトレルビル　フマル酸、レナカパビルナトリウムを投与中の患者［10.1 参照］</td></tr>
<tr><td>10.1 併用禁忌（併用しないこと）<table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>ドラビリン（ピフェルトロ）
エンシトレルビル　フマル酸（ゾコーバ）
レナカパビルナトリウム（シュンレンカ）
ニルマトレルビル・リトナビル（パキロビッド）［2.2 参照］</td><td>エンザルタミドの併用により、これらの薬剤の作用を減弱させるおそれがある。</td><td>エンザルタミドのCYP3A4誘導作用により、これらの薬剤の血中濃度を低下させる可能性がある。</td></tr></table></td><td>10.1 併用禁忌（併用しないこと）<table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>ドラビリン（ピフェルトロ）
エンシトレルビル　フマル酸（ゾコーバ）
レナカパビルナトリウム（シュンレンカ）［2.2 参照］</td><td>エンザルタミドの併用により、これらの薬剤の作用を減弱させるおそれがある。</td><td>エンザルタミドのCYP3A4誘導作用により、これらの薬剤の血中濃度を低下させる可能性がある。</td></tr></table></td></tr>
</table>

※参考文献

・アステラス製薬株式会社　電子添付文書改訂のお知らせ